

各中学校運動部活動顧問の皆様へ

適正な部活動の実施に向けて

八王子市中学校体育連盟会長
工藤 彰久（浅川中校長）

1 運動部活動の位置付け

部活動の位置付けについて【中学校学習指導要領（平成29年3月改訂）】

第1章 総則 第5 学校運営上の留意事項

1 教育課程の改善と学校評価、教育課程外の活動との連携

ウ 教育課程外の学校教育活動と教育課程の関連が図られるように留意するものとする。特に、生徒の自主的、自発的な参加により行われる部活動については、スポーツや文化、科学等に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等、学校教育が目指す資質・能力の育成に資するものであり、学校教育の一環として、教育課程との関連が図られるよう留意すること。その際、学校や地域の実態に応じ、地域の人々の協力、社会教育施設や社会教育関係団体等の各種団体との連携などの運営上の工夫を行い、接続可能な運営体制が整えられるようにするものとする。

2 運動部活動の意義

運動部活動は、スポーツの技能等の向上のみならず、生徒の生きる力の育成、豊かな学校生活の実現に意義を有するものとなることが望まれます。

学校教育の一環として行われる運動部活動は、スポーツに興味と関心をもつ同好の生徒が、より高い水準の技能や記録に挑戦する中で、生徒に下記のような様々な意義や効果をもたらすものと考えられます。

- (1) スポーツの楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。
- (2) 体力の向上や健康の増進につながる。
- (3) 保健体育科等の教育課程内の指導で身に付けたものを発展、充実させたり、活用させたりするとともに、運動部活動の成果を学校の教育活動全体で生かす機会となる。
- (4) 自主性、協調性、責任感、連帯感などを育成する。
- (5) 自己の力の確認、努力による達成感、充実感をもたらす。
- (6) 互いに競い、励まし、協力する中で友情を深めるとともに、学級や学年を離れて仲間や指導者と密接に触れ合うことにより学級内とは異なる人間関係の形成につながる。



このように、運動部活動は、各学校の教育課程での取組とあいまって、学校教育が目指す生きる力の育成、豊かな学校生活を実現させる役割を果たしていると考えられます。



継続的にスポーツを行う上で、勝利を目指すこと、今以上の技能の水準や記録に挑戦することは自然なことであり、それを学校が支援すること自体が問題とされるものではありません。しかし、大会等で勝つことのみを重視し過重な練習を強いることなどが無いようにすること、科学的な根拠に基づいた指導に努めるとともに、健全な心と身体を培い、豊かな人間性を育むためのバランスのとれた運営と指導が求められます。

生徒の自主的、自発的な参加を前提にして行われる部活動において、生徒のよりよい人間関係を育むために、これまで以上に生徒をよく見つめ、運動部活動の意義を踏まえた適切な指導にあたられることを、改めてお願いします。